

- このたびは、『デッキシステム』をご採用いただきましてありがとうございます。
- 商品の組み立ておよび施工には、この施工マニュアルをお読みになり、正しく美しく仕上げてください。

■ 施工上の注意

⚠	● 施工前に部材・部品の寸法・数量を確認してください。 ● 躯体やサッシ枠より10mm以上離して施工してください。 ● インパクトドライバーをご使用の際は、ネジの締めすぎに十分ご注意ください。 ● 『NEXTウッド』の「固定金具」をご使用の場合は、必ず細軸タイプ（軸径4.5mm以下）のドライバービット（2番）をご用意ください。
🚫	● 必ず弊社指定の寸法範囲内で施工してください。 ● 溶剤による塗装、接着による固定は行わないでください。 ● 壁への立て掛けでの保管は絶対に行わないでください。 ● オプション部材「幕板」を施工した場合、幕板には過度な荷重をかけないでください。 ※蹴込み板など荷重が掛かる用途で使用する場合は、必ず別途部材を発注し補強してください。

1. 部材の確認

■ 下地材

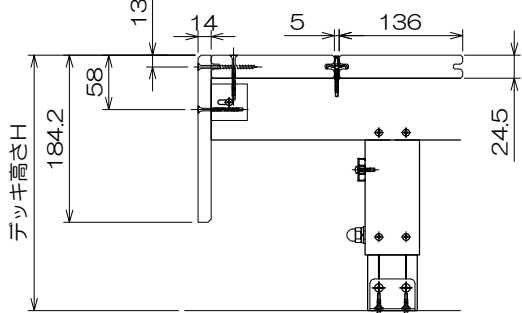
品名	大引きセット				※「大引きセット(連結用)」のみ
	大引き	調整束柱	束柱固定金具	取付ネジ	大引き連結材(※)
姿図				コンクリートビス φ5X35 なべドリルねじφ5X13 なべドリルねじφ4X16	 トラスタッピンねじ φ4X10 (3種)

品名	根がらみセット[筋交いセット(※)]		
	根がらみ(筋交い)	端部キャップ	取付ネジ
姿図			なべドリルねじ φ4X19

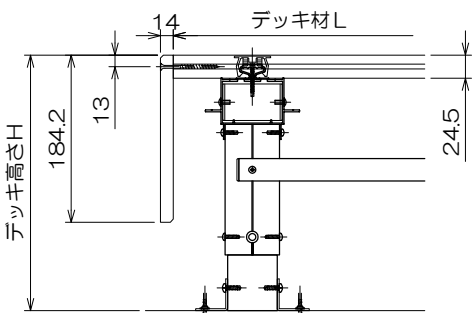
- ※「筋交いセット」は下記の場合が必要です。
- デッキ高さHが500mmを超える場合
 - 大引きが二列の場合

NEXTウッド(SKG-XD)の場合

■縦貼り納まり図(正面方向)



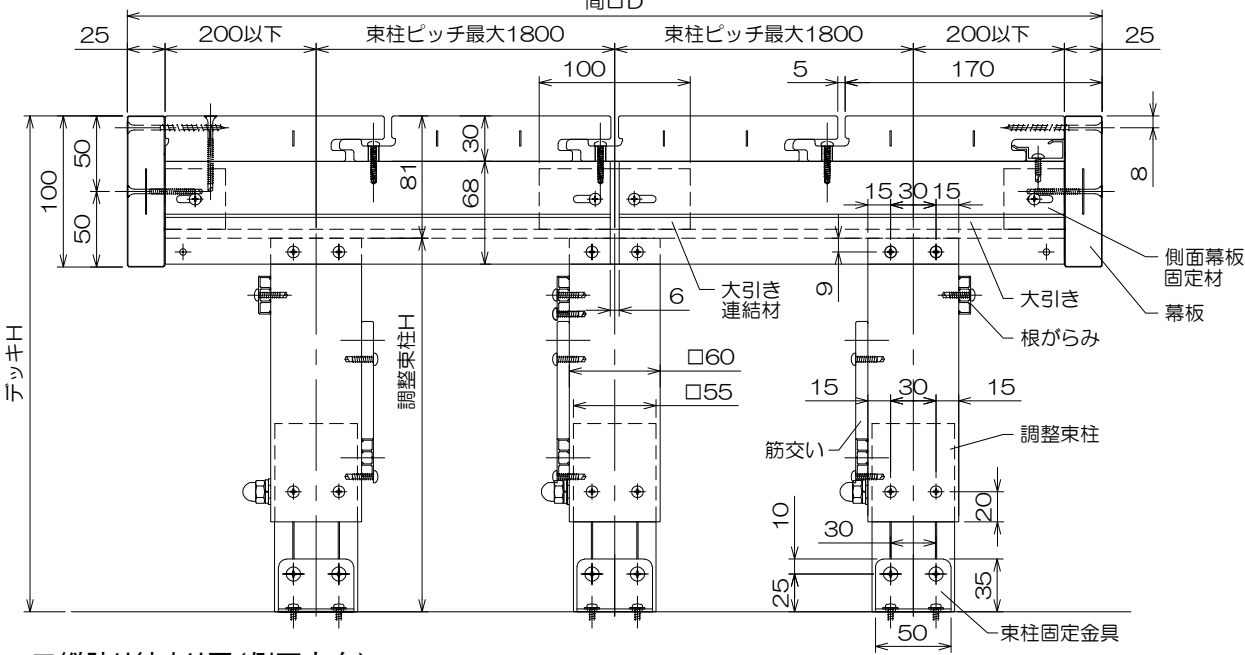
■縦貼り納まり図(側面方向)



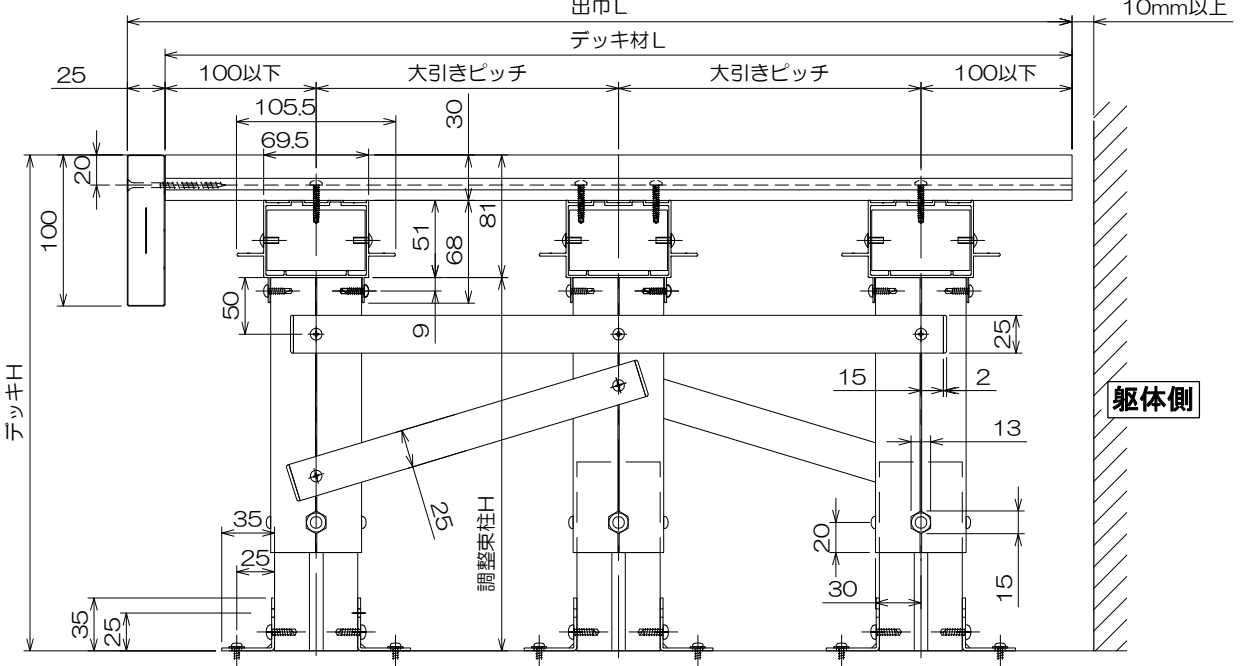
2. 参考納まり図

標準デッキ(SKG-ND、SKG-NDL)の場合

■縦貼り納まり図(正面方向)

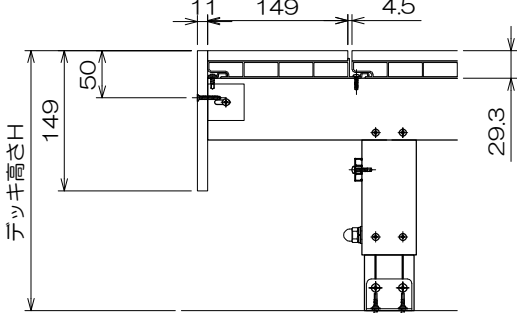


■縦貼り納まり図(側面方向)

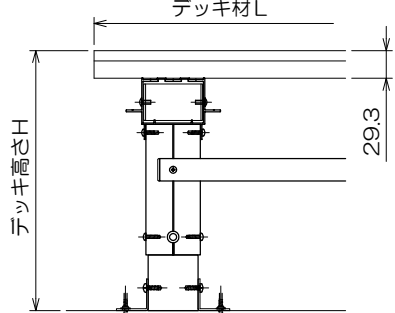


選べるデッキ(ED***)の場合

■縦貼り納まり図(正面方向)



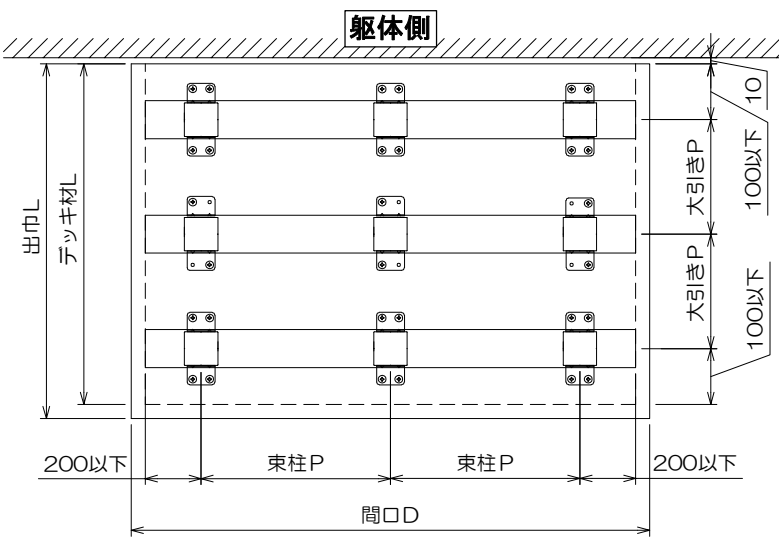
■縦貼り納まり図(側面方向)



3. 施工基準図

・大引きは下記のピッチで仮置きしてください。

- デッキ端部より100mm以下
- ピッチ450mm以下
 - ・選べるデッキ：セラミック（EDC1）
- ピッチ500mm以下
 - ・合成木材デッキ（SKG-ND、SKG-NDL）
- ピッチ600mm以下
 - ・NEXTウッド（SKG-XD）
 - ・選べるデッキ：竹（EDB*）
 - ・選べるデッキ：人工木（EDW1）



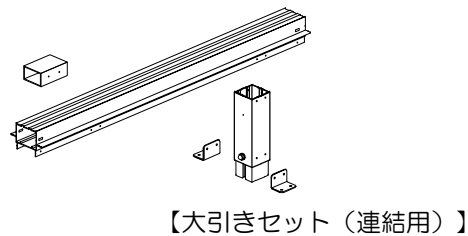
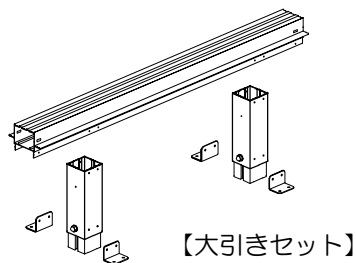
注意

＜デッキ材を連結する場合＞

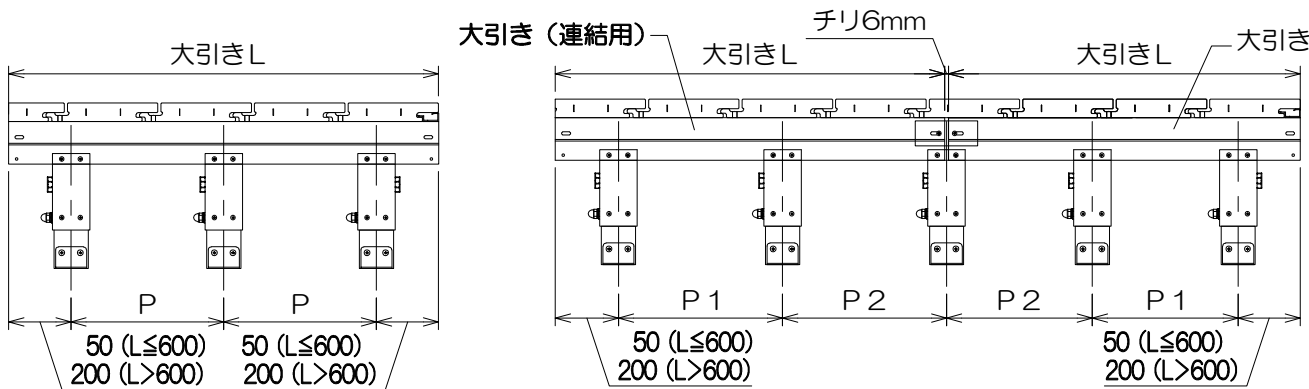
- デッキ材の突合せ部には必ず「大引き」を敷き、隙間が無い様に突き当てて施工してください。

＜大引きを連結する場合＞

- 大引きの連結部には必ず「調整束柱」を設置して下さい。
※そのため「大引きセット（連結用）」には「調整束柱」が1本少なく同梱されています。



（参考）表1・表2は、あらかじめ加工されている通りに組立てた場合の大引きと束柱の位置関係を示す表になります。



大引きL寸法	P
200 ≤ L ≤ 2000	L-400
2000 < L ≤ 3600	(L-400) / 2

表1. 束柱の配置

大引きL寸法	P1	P2
200 ≤ L ≤ 2000	L-197	-
2000 < L ≤ 3600	(L-400) / 2	(L-400) / 2 + 203

表2. 束柱の配置(大引き連結時)

注意

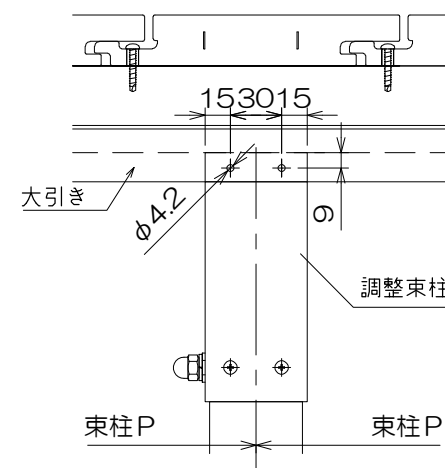
＜束柱の位置を変更する場合＞

束柱の取付位置に障害物などがあって束柱の取付位置を変更したい場合は、下記の内容を守った上で、束柱の取付位置を検討してください。

（１）束柱のピッチは、下記のピッチで変更してください。

- 大引き端部より200mm以下
- 束柱P：1800mm以下

（２）束柱の取付位置を決定後、大引きの取付面に右図を参考にして穴加工を行ってください。



4. 使用工具の確認

＜主な使用工具＞

- ・インパクトドライバー
- ・振動ドリル
- ・スライド丸鋸
- ・卓上丸鋸
- ・ジグソー
- ・集塵機
- ・ハンマー
- ・ボール
- ・スケール
- ・ドリルビット
- ・レザーソー
- ・延長コード
- ・水平器（L1200、600）
- ・ドライバー（+・-）
- ・M8用レンチ
- 等

注意

- ・『NEXTウッド』の「固定金具」をご使用の場合は、必ず細軸タイプ（軸径φ4.5以下）のドライバービット（2番）を使用して施工してください。

5. 下地の施工

1 施工準備

- 施工基準図を参考に「調整束柱」の設置位置を墨出ししてください。
※施工現場がコンクリートでない場合は、あらかじめ束石を設置してください。
束石はサイズ300×300×100程度のものを別途用意し、地面に埋め込む等十分に固めてください。

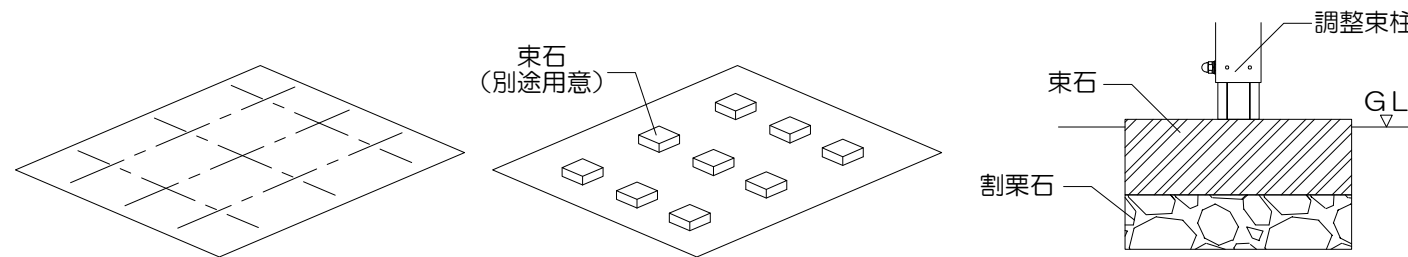
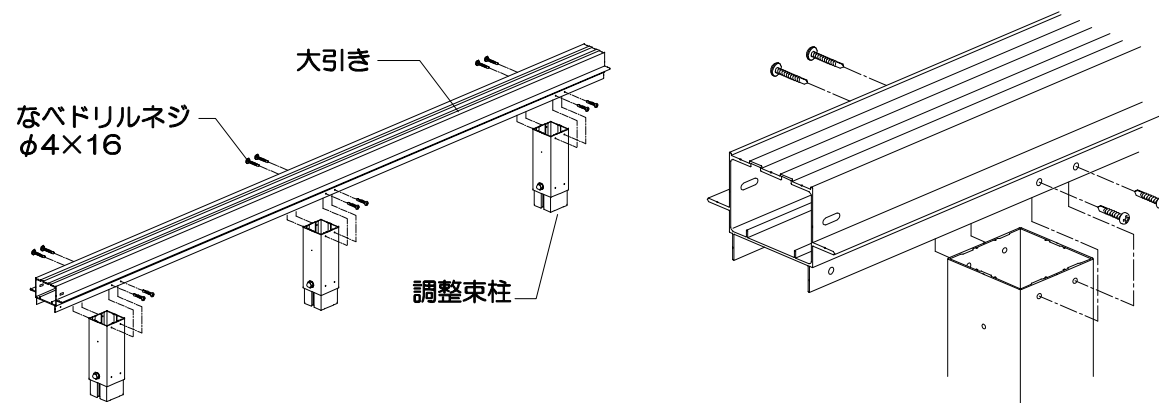


図1. 束石の埋め込み例

5-1. 下地の施工

2 束柱・大引きの組立

- 「調整束柱」を並べ、その上から「大引き」を載せて下さい。
それぞれの加工穴の位置を合わせて、「なべドリルねじφ4×16」で固定してください。



- 大引きを連結する場合は図のように「大引き連結材」を片側の大引きに取付け、調整束柱の上で連結してください。
※連結部にはチリが6mmできるようになっています(図2)。

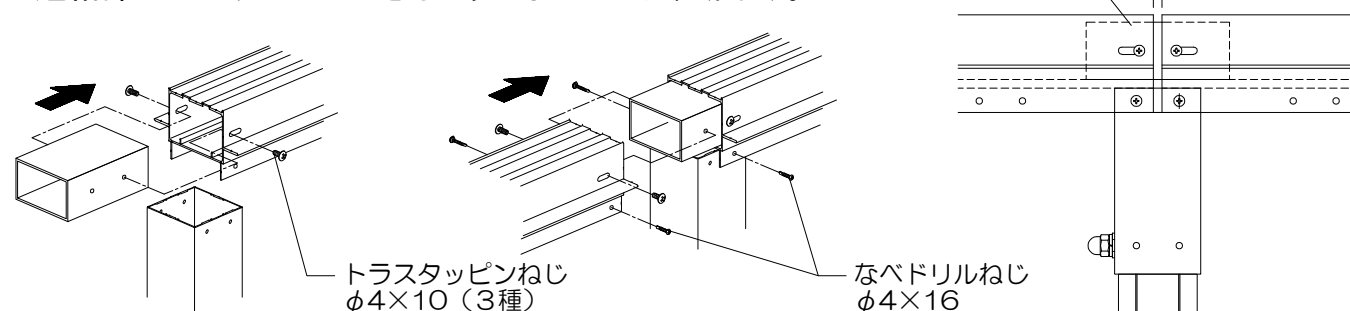
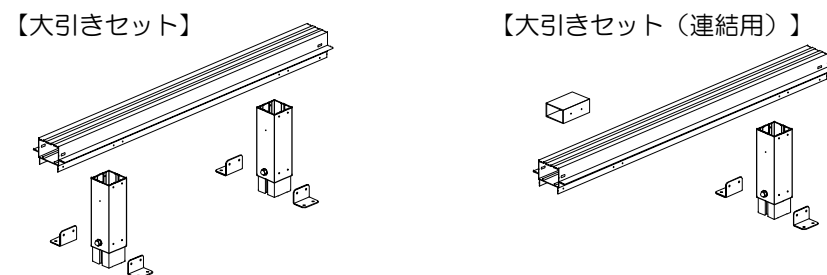


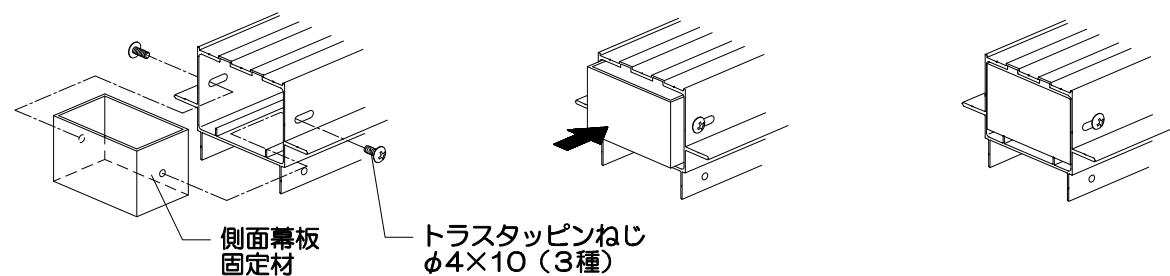
図2. 大引きの連結

注意

- ・大引きの連結部には、必ず「調整束柱」を設置して下さい。
※そのため「大引きセット(連結用)」には「調整束柱」が1本少なく同梱されています。



- 「幕板」(オプション)を取付ける場合は、大引き端部に「側面幕板固定材」(オプション)を取付けてください。
※幕板の施工方法については、『7. オプション部材の施工』を参照してください。



3 束柱の高さ調整

- (1) デッキのF.L.を決定し、束柱のナットを緩めて高さを調整してください。(図3)

※高さ調整は、必ずあらかじめ決められている調整範囲内でおこなってください。
※部材の水平・直角を確認してください。

- (2) 高さ調整後ナットを締め、「なべドリルねじφ4×16」にて完全に固定してください。(図4)

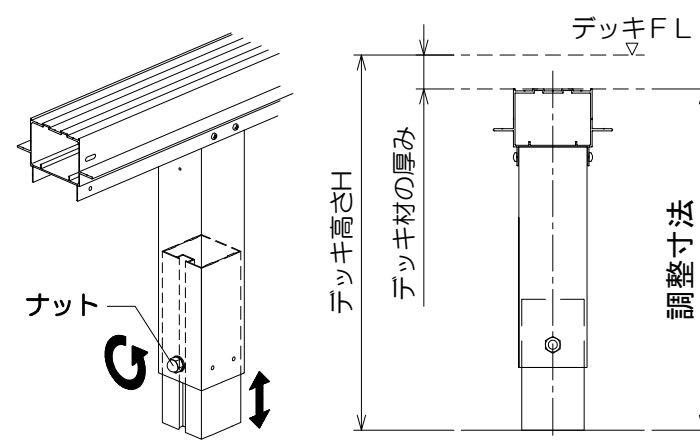


図3. 高さ調整

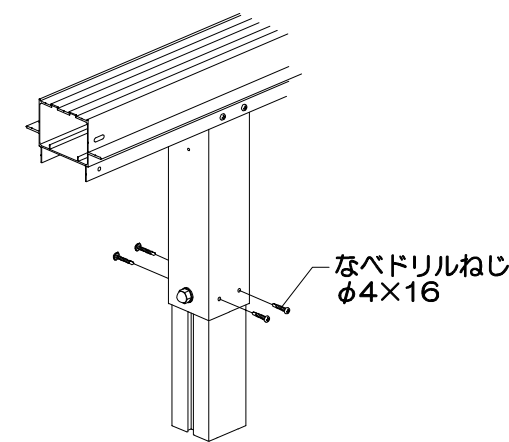
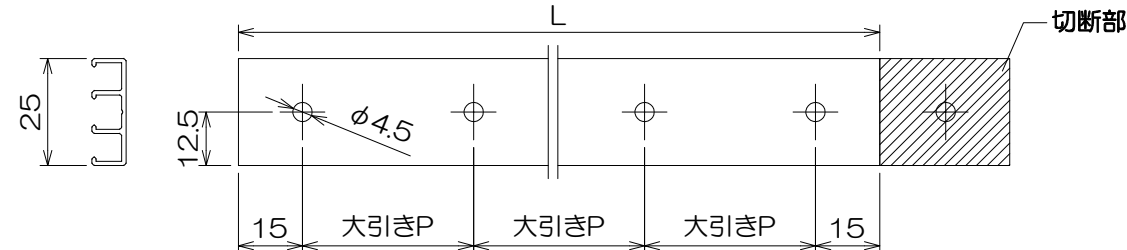


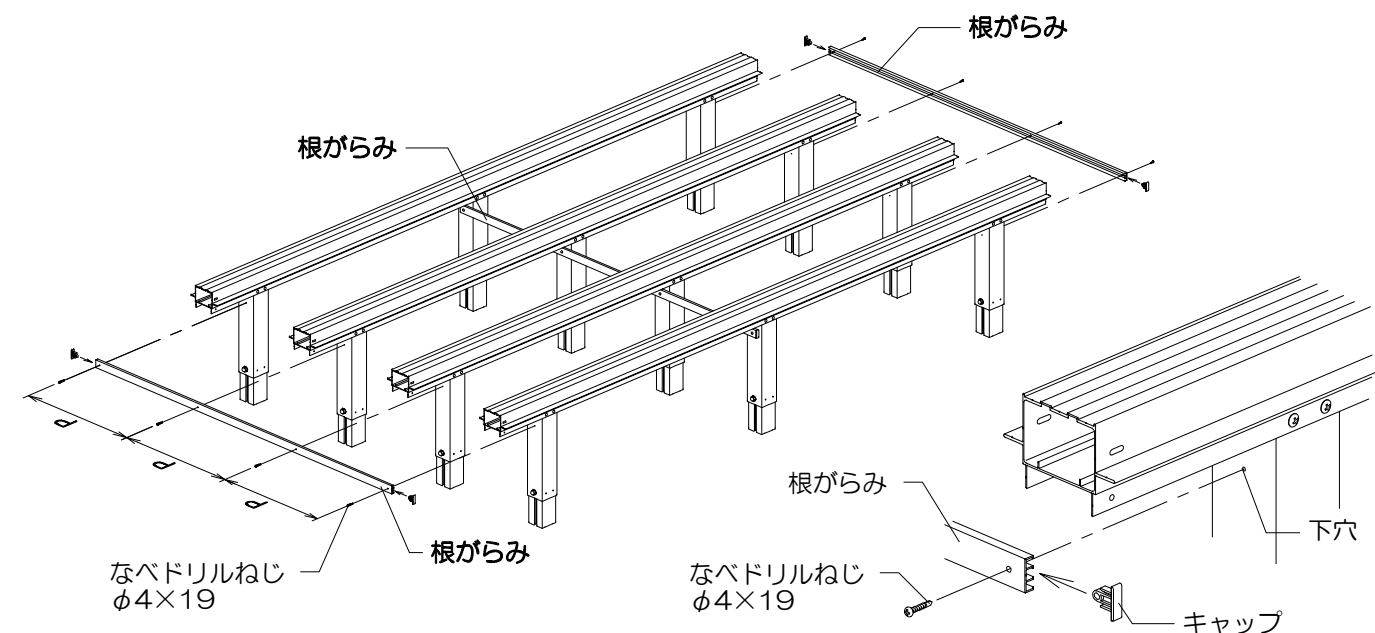
図4. 束柱の完全固定

4 根がらみの加工・取付

- (1) 大引きのピッチを決定し、それにあわせて根がらみの切断・加工をしてください。
※根がらみには、あらかじめ端部加工のみしてあります。



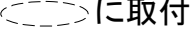
- (2) 根がらみの両端部に付属のキャップを押し込み
束柱にあげられた下穴に「なべドリルねじφ4×19」で固定してください。

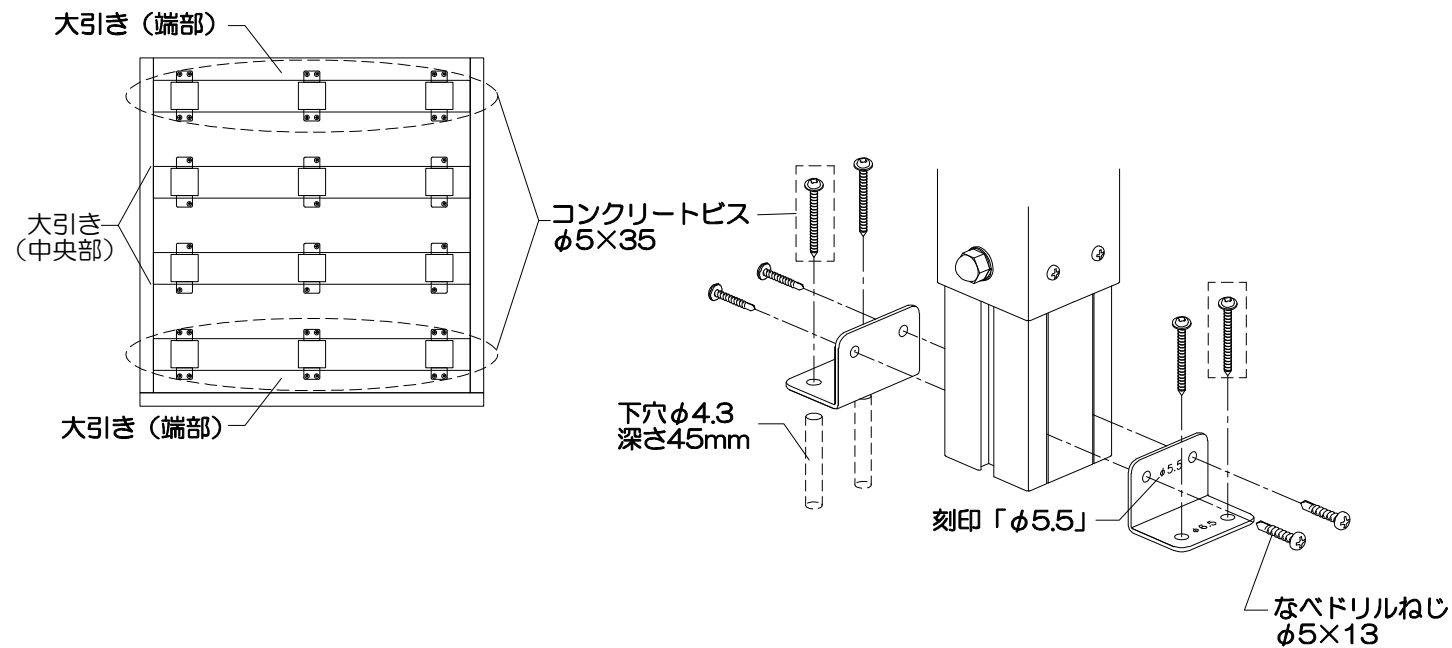


5-2. 下地の施工

5 束柱の固定

- 束柱を「束柱固定金具」を使って基礎に固定してください。

※デッキ材の端部に配置した大引き（）に取付いている「調整束柱」には必ず「コンクリートビスφ5×35」の2本目（）も使用してください。



注意

- ・金具は刻印「φ5.5」のある向きを束柱側にしてください。

6 筋交いの取付（※大引きが2列のみ、またはデッキH>500の場合）

- 筋交いは【側面両端部】と【大引き連結部】の束柱に取付けます。
下図を参考に施工してください（図5）。

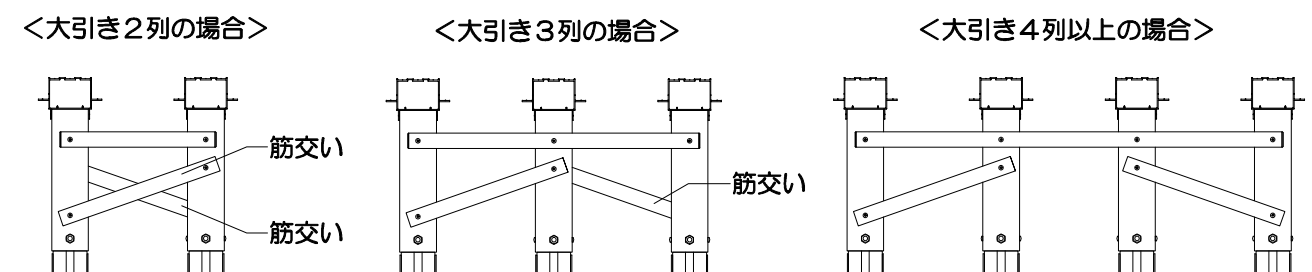


図5. 筋交い設置基準

- （1）取付位置を確認し、束柱の中心から15mmの位置で切断し加工してください（図6）。

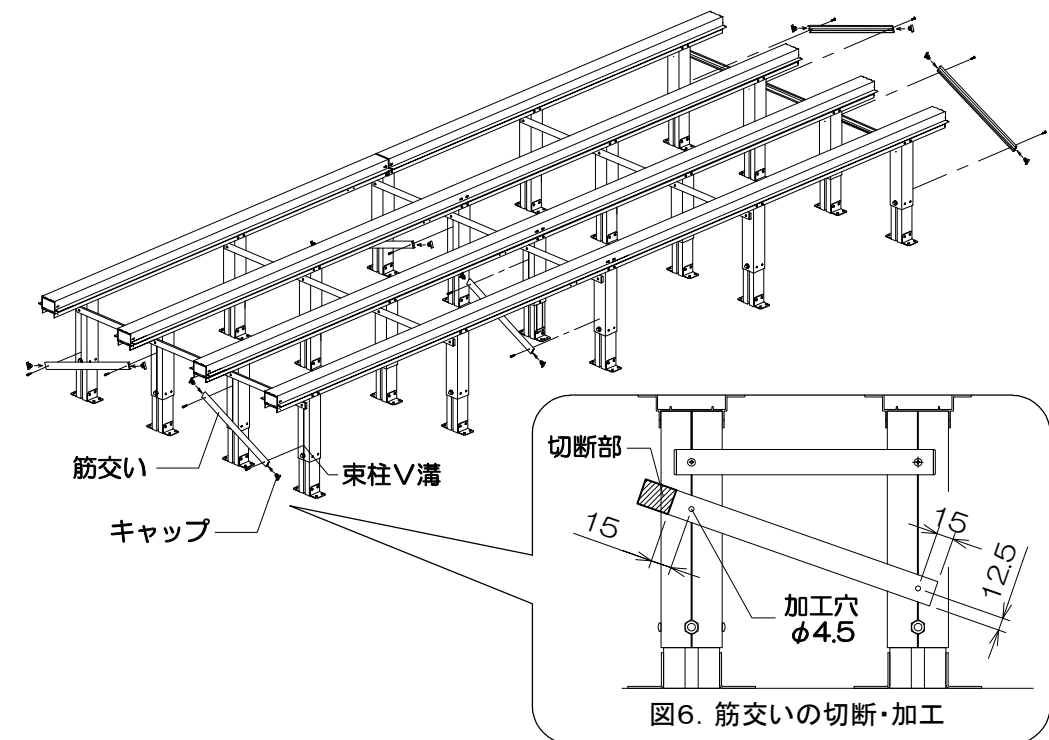
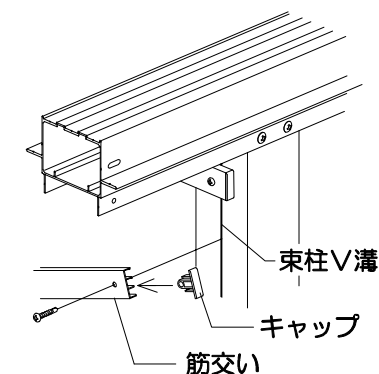


図6. 筋交いの切断・加工

- （2）筋交いの両端部に付属のキャップを押し込み、束柱のV溝に「なべドリルねじφ4×19」で固定してください。



注意

- ・V溝以外には決して取付ないでください。

デッキ材の施工は、各デッキ材の施工マニュアルをご覧ください。▶▶
※選べるデッキの施工マニュアルは、アルミベースに同梱されています。

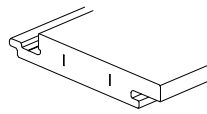
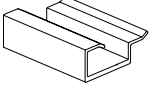
- このたびは、『合成木材デッキ』をご採用いただきましてありがとうございます。
- 商品の組み立ておよび施工には、この施工マニュアルをお読みにになり、正しく美しく仕上げてください。

■ 施工上の注意

	● 施工前に部材・部品の寸法・数量を確認してください。 ● 躯体やサッシ枠より10mm以上離して施工してください。 ● インパクトドライバーをご使用の際は、ネジの締めすぎに十分ご注意ください。 ● デッキ材（SKG-ND、SKG-NDL）を長手方向に連結する場合は千鳥張り（馬目地）で施工してください。
	● 必ず弊社指定の寸法範囲内で施工してください。 ● 溶剤による塗装、接着による固定は行わないでください。 ● 壁への立て掛けでの保管は絶対に行わないでください。 ● オプション部材「幕板」を施工した場合、幕板には過度な荷重をかけないでください。 ※蹴込み板など荷重が掛かる用途で使用する場合は、必ず別途部材を発注し補強してください。

1. 部材の確認

●標準デッキ（SKG-ND、SKG-NDL）

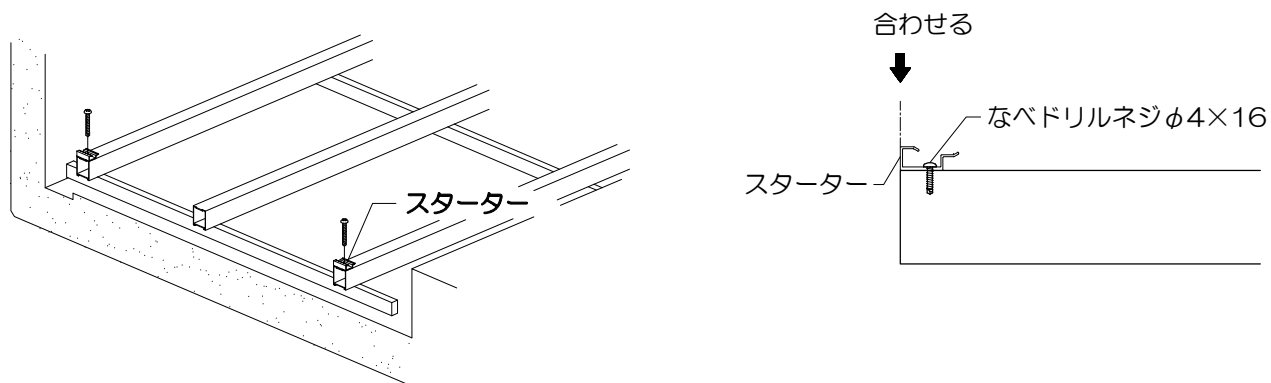
品名	デッキ材	取付ネジ	スターター	5mmスペーサー
姿図	 [サイズ] 145X30	 なベドリルねじφ4×25		 デッキ材目地5mm調整用

2. デッキ材の施工

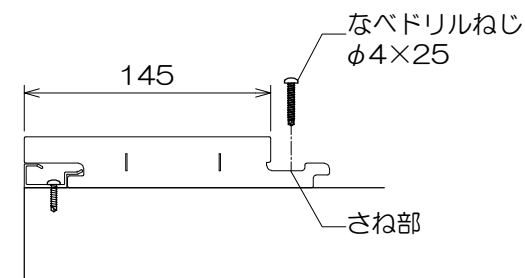
ラティスフェンス取付の場合

- ・別売りの「ラティスフェンス」「デッキフェンス」を施工の場合は、別途下地の補強が必要になります。詳しくはフェンス付属の取付説明書をご確認ください。

- ・デッキ貼り始めの位置決め用に「スターター」を取付けます。

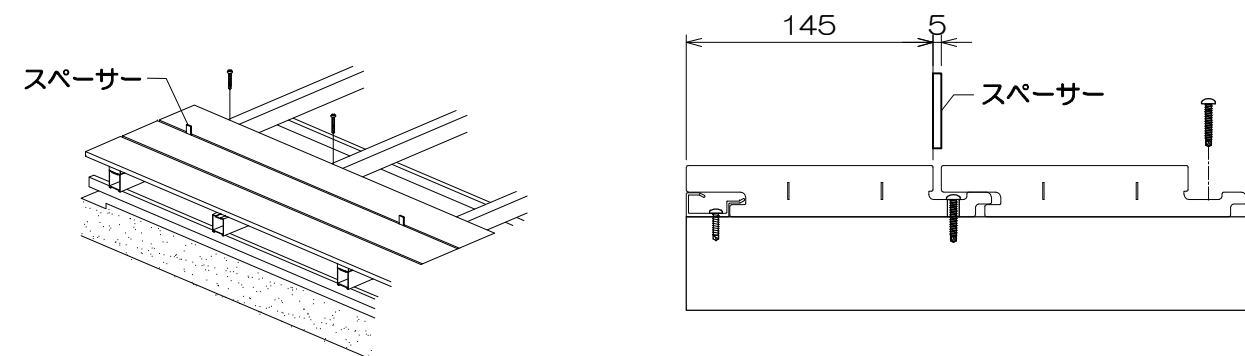


- ・下図のように「スターター」にデッキ材を突き当てて設置し、さね部から根太や大引きにネジで固定してください。



※「さね部」にあらかじめ加工されている水抜き穴にはネジを打たないでください。

- ・付属のスペーサーを利用してデッキ材の間隔を5mmずつ空け、ジョイントしながら貼っていきます。

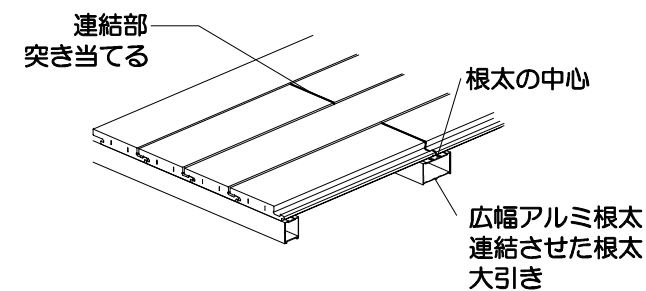


※躯体の凹凸に併せて、必要に応じて丸鋸、ジグソー等でデッキ材を加工してください。

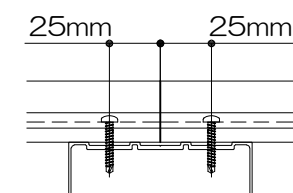
※躯体との直角を確認しながら施工してください。

注意

- ・デッキ材を長手方向に連結させる場合は、下図のように千鳥張りにしてください。
- ・デッキ材の長手方向の突合せ部は、隙間が無い様に突き当てて施工してください。

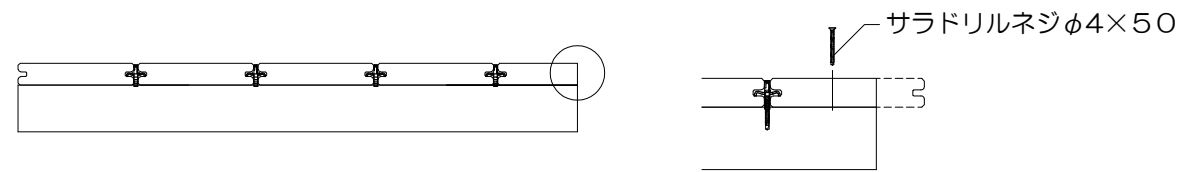


- ・ネジ止めは、デッキ材端部から25mm以上で行ってください。



貼り終わりのサイズが合わない場合

- 貼り終わりのデッキを大引きの端部に合わせて縦裂きしてください。
- デッキ材表面からサラドリルネジφ4×50で直接打ち込んで固定して下さい。
※デッキ材には必ず下穴（φ4.5）を空けてください。



POINT

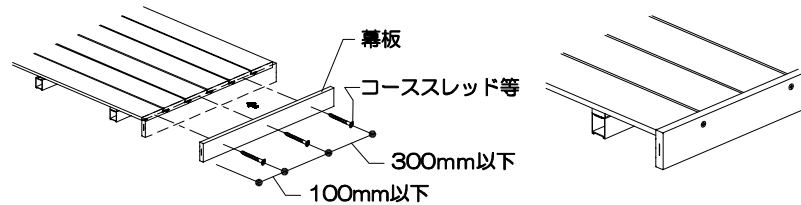
デッキを縦裂きする場合、ジグソー（刃：新建材PC仕上用）、又は丸鋸（刃：集成材用）に潤滑スプレー（シリコン系スプレー等）を吹付け、刃を傾けて切断してください。

3. 幕板の施工

レギュラータイプ下地の場合

＜幕板＞ 【サイズ】25×100

- 木口面の仕上げ用としての部材です。



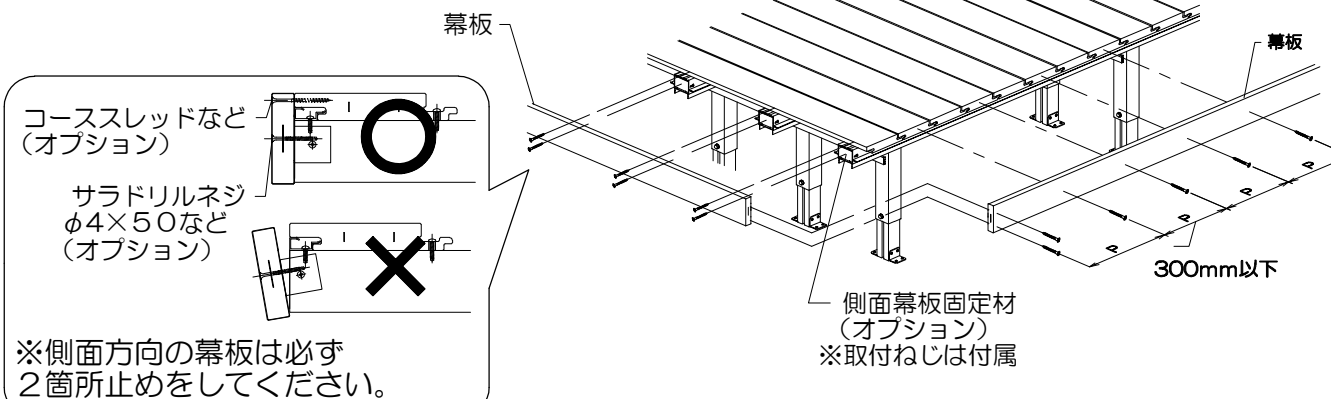
- ※取付けネジは別手配になります。
- ※取付け時にはあらかじめ下穴を空けて下さい。

高床タイプ下地の場合

＜幕板＞ 【サイズ】25×100

- デッキ材の木口面や大引きを隠す仕上げ用部材です。

- ※取付けネジは別手配になります。
- ※取付け時にはあらかじめ下穴を空けて下さい。

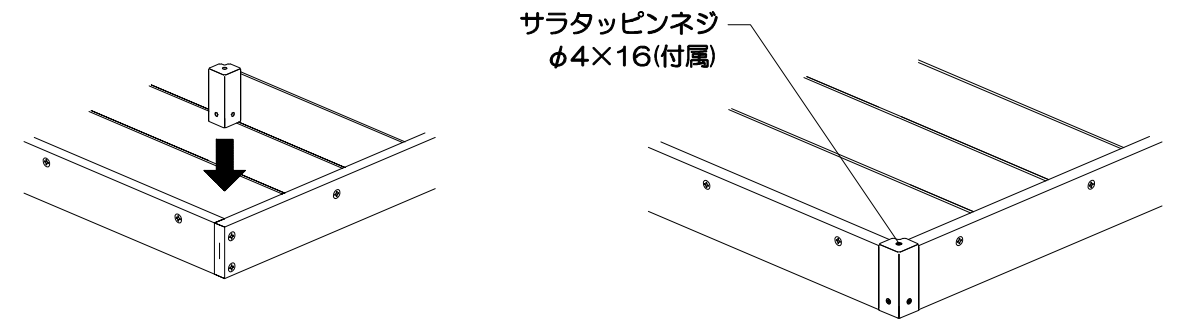


※側面方向の幕板は必ず2箇所止めをしてください。

4. オプション部材の施工

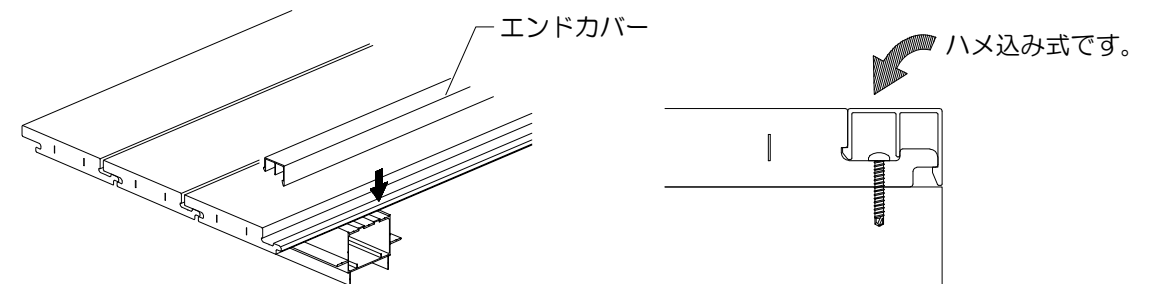
＜幕板コーナークバー＞

- 幕板の出隅部の仕上げ用として使用します。



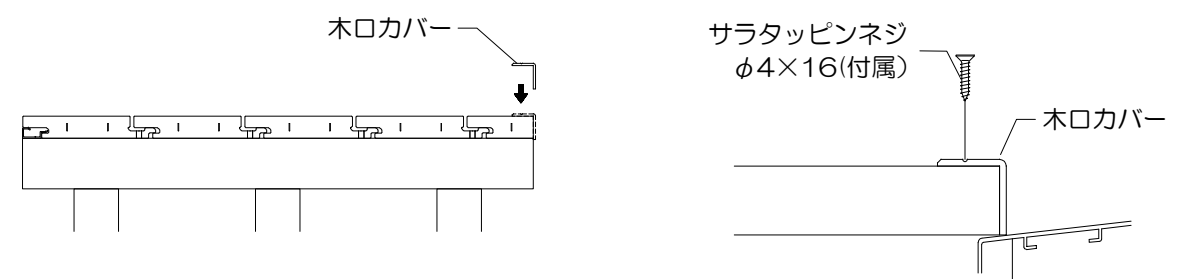
＜エンドカバー＞

- デッキ貼り終わり端部のビス隠し用の部材です。



＜木口カバー＞

- デッキを縦裂きした場合の木口処理や隙間などの見切り用として使用します。



＜木口カバーキャップ＞

- 木口カバー連結部の仕上げ用部材です。

